

坂

プロデュース*栗田章博
監督*脚本*滝本直貴
撮影*照明*磯貝均
録音*整音*照澤道雄

の

制作*助監督*谷 高明
衣装*ヘアメイク*野々下路子
編集*加藤かえ
音楽*中村善郎
ネガ編集*石川 歩

上

出演
入江杏子・中西和久
渡邊恵海・中村有志・綿崎嘉江
佐々木利明・安水忠司

の

現地制作*九州国際大学映画研究会
後援*北九州市・北九州市教育委員会
北九州市八幡東区社会福祉協議会
北九州市老人福祉事業経営者協議会

マ

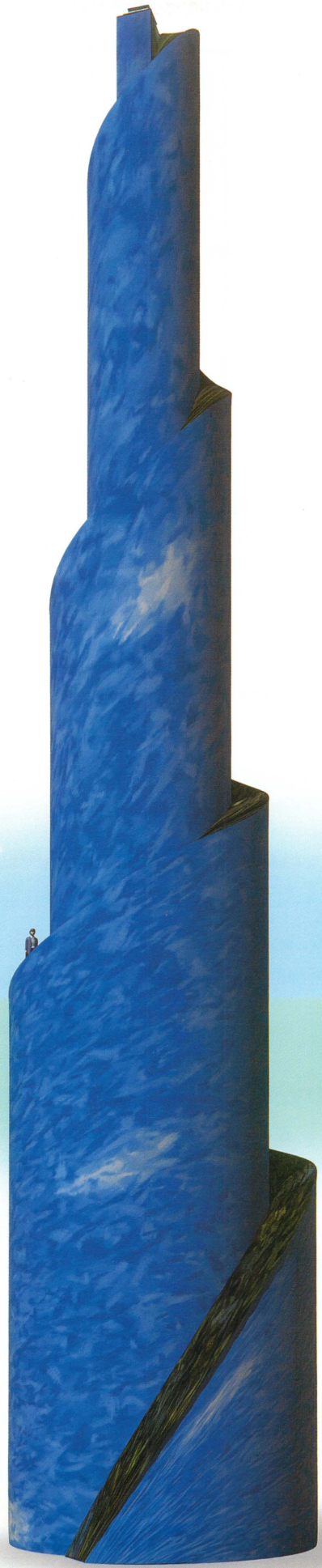
製作
「坂の上のマ」製作上映委員会
有限会社フォルゴトプロダクション
岩波映像株式会社

リ

2000年*日本
カラー16ミリ35ミリ
ビスタサイズ70分
配給*販売*岩波映像株式会社

ア

人生を上り続けて辿り着いたのは“離れられない場所”だった。



坂の上のマリア

作品解説

“古い木を新しい土地に移してはいけない、死んでしまうから”

確かロシアのことわざでそんなフレーズがあった気がする。

高齢者にとっては、他の誰もが想像できないほど長年暮らした土地への思い入れは深い。

だが、現実問題として急な坂が多い不便な土地での独居は困難である。

そのような状況で周囲は高齢者の意志を尊重できるのか？

また、地域はどうサポートできるのか？

瀬木監督は、高齢者の生き様と想い、そして、地域コミュニティのあり方を、

北九州八幡「やまさかのまち」を舞台にフィクションとして映画化した。

スタッフは、主人公の老女「マリア」の心の変遷をリアルに描くために、

撮影の何日も前から現地に住み込み地元と交流した。

その結果、地元「八幡」の住民のみならずも数多く出演して下さることになった。

坂の上の人々は、坂を日常的なものとして受け入れ、ごくあたり前に暮らしている。

そんな情景をフィルムに定着させていく作業は、いたずらにテーマ性に縛られることのないフィクションでありながら、

ノンフィクション的なリアルさと迫力をもった、日常生活の中のドラマを紡ぎだしていくことだった。

「坂の上のマリア」は、若い世代が新しい視点と手法で描くナチュラルな社会派ドラマである。

あらすじ

皿倉山の中腹にあるその家は、車道から数百メートルもの狭い路地と階段を上ったところにある。

“ここは、きつくて、いいところで、不便なところ…”

そこで暮らす老女・マリア(78)は、無愛想で頑固者。

いつも憎まれ口をたたいて周囲を困らせているが、その言動にはどこか人間味にじみでている。

ある日マリアは、遊びに来ていた孫のために買ったスイカを階段で落としてしまい、

咄嗟に階段を駆け降りるが、転倒してけがを負ってしまう。

彼女はこの長い坂が恨めしく、自分の衰えていく肉体の現実もあいまって、情けなくすすり泣く。

マリアは、この事故をきっかけに、息子の勧めに従って

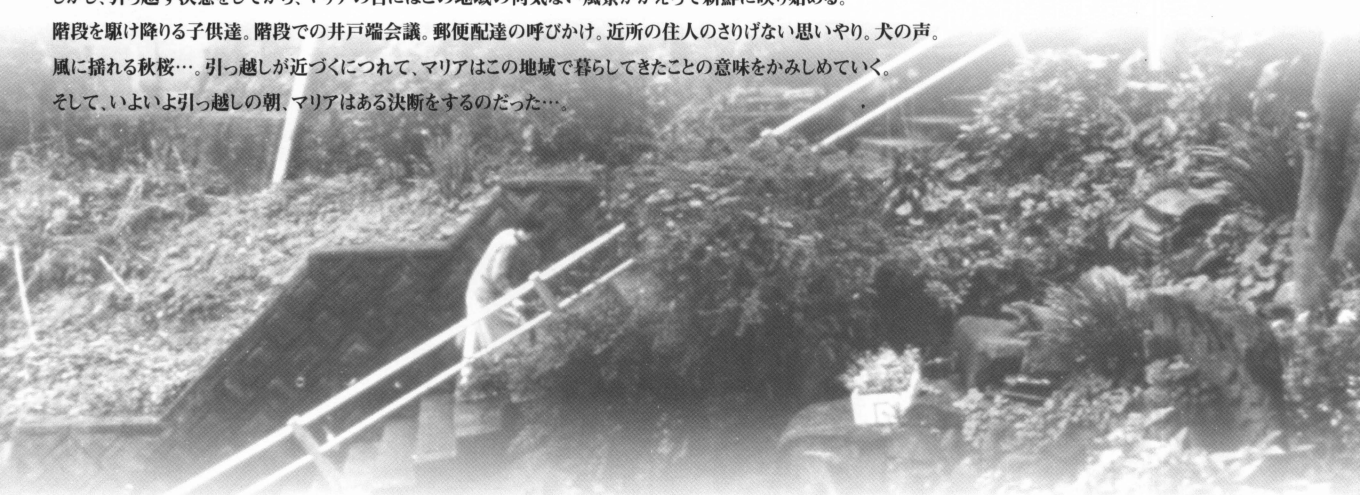
平坦な新興住宅地に引っ越して同居することを決意する。

しかし、引っ越し決意をしてから、マリアの目にはこの地域の何気ない風景がかえって新鮮に映り始める。

階段を駆け降りる子供達。階段での井戸端会議。郵便配達への呼びかけ。近所の住人のさりげない思いやり。犬の声。

風に揺れる秋桜…。引っ越しが近づくにつれて、マリアはこの地域で暮らしてきたことの意味をかみしめていく。

そして、いよいよ引っ越しの朝、マリアはある決断をするのだった…。



「このポスター(チラシ)は、北九州市芸術文化振興基金の補助を受けてつくられました」

※「坂の上のマリア」ホームページ・<http://www.sunaba.net/~yamasaka/maria.html>

8月11日(土)より、感動のモーニングショー!! (8/24(金)まで)

●連日あさ10:30~11:45 (1回上映・混雑状況は劇場までお問い合わせください)

●特別前売鑑賞券 ¥1300 絶賛発売中!

●劇場窓口、チケットぴあにてお買い求めください

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>

お得なお知らせ 新規料金サービス実施中! 火曜日:男性1,000円、水曜日:女性1,000円、高校生1,000円でご覧いただけます。(特別興行を除きます。)